

# 出エジプト 作戦

エベネゼル国際緊急基金

## 迫り来る嵐

しかし神のみことばは成就する

恐れるな。わたしがあなたとともにいるからだ。わたしは東から、あなたの子孫を来させ、西から、あなたを集める。わたしは、北に向かって『引き渡せ。』と言い、南に向かって『引き止めるな。』と言う。わたしの子らを遠くから来させ、わたしの娘らを地の果てから来させよ。わたしの名で呼ばれるすべての者は、わたしの栄光のために、わたしがこれを創造し、これを形造り、これを造った。

イザヤ43章5節－7節



# 迫り来る嵐



**Ebenezer Emergency Fund International**  
Ebenezer House, 5a Poole Road  
Bournemouth, BH2 5QJ UK.  
Telephone: +44 (0) 1202 294455  
Fax: +44 (0) 1202 295550  
enquiries@ebenezer-ef.org  
www.operation-exodus.org

エベネゼル緊急基金日本支部  
〒062-8691 豊平郵便局私書箱37号  
Tel&Fax: 011-813-3558 (岡田)  
Email : e@eefj.org  
ホームページ:  
<http://ebenezerjapan.org/>  
献金の送付先:  
郵便振替 (名称) エベネゼル緊急基金  
(番号) 02710-0-55842

Operation Exodus (出エジプト作戦) はエベネゼル緊急基金の実際的な働き of 名称です。すべての国々からユダヤ人がイスラエルの地に帰還するように支援しています。彼らが約束の地に帰還するという神の計画と目的を宣言するべく1991年に3人の人から始まりました。

イギリス本部、アメリカ、スイス、ドイツを中心に国際的活動を展開し、さらにイスラエルを含めた25カ国に各国代表者と各国支部を配置しています。そして、旧ソ連諸国には実際的な働きのために、数多くの活動の拠点を設置しています。日本支部もその働きの一部です。

アリヤーの働きの中で、私達は、神が御自身の預言的な約束を成就され、御自身の民をイスラエルへと帰還されるのを目の当たりにしています。この全てのことは、メシアの啓示と再臨のための準備です。私達は、エレミヤ、イザヤ、エゼキエル、アモスなどの預言が成就するのを自分の目で見ることができる世代なのです。

たとえ世界中がイスラエルを敵の只中に散らそうとしても、神のご計画は阻止されることがありません。主はイスラエルの民を世界中から集める、と言われます。

「主は、国々のために旗を揚げ、イスラエルの散らされた者を取り集め、ユダの追い散らされた者を地の四隅から集められる。」イザヤ書1:12

今日、反ユダヤ主義が特にヨーロッパ諸国、旧ソ連、またラテンアメリカにおいて台頭しています。ユダヤ人への憎しみが、過去数ヶ月の間に多くの場所で非常に強まってきています。この状況は、第二次世界大戦の前の状況と似ています。いくつかの例を挙げます。

- 2014年7月14日、パリで2万人がデモを行い、「ユダヤ人は死ぬ」と叫んでいました。中には、ユダヤ人会堂を襲おうとしていた人達もいました。会堂の中にいたユダヤ人は、命を狙われている

と恐れていましたが、何とか警備員に助け出されました。

- ベルリンで7月17日に、反イスラエルのデモの群集が、「ユダヤ人、ユダヤ人、臆病な豚! さあ出て来い。自分で戦え!」と叫んでいました。
- スイスでは、ユダヤ人協会の会長が、スイスにおけるユダヤ人への憎しみが悪化していて、チューリッヒで、人々が何度もユダヤ人に対しての憎しみを掲げ、暴力を呼びかけました。

私達は、どのようにこの状況に応答すべきでしょうか。ユダヤ人を故郷に帰還させるには犠牲が伴います。しかしその報いは永遠の価値のあるものです。そして、私達が彼らのためにできるどんな善であっても、それが彼らの救いへの道の妨げを取り除く助けとなるのです。





# しかし神のみことばは成就される

この世界的な反ユダヤ主義が台頭する中でも、私達はさらに多くのアリアが起こされているのを見ています。特にフランスからは2013年の3倍以上、ウクライナからも昨年の2倍のアリアが起こされています。他の国々からの帰還も増えています。私達は、現在移行の時期にきていると感じています。それは、漁夫達はまだいますが、猟師達も放たれているのです。(エレミヤ書16:16) アリアーが、神の栄光とつながっているのと同様に、またユダヤ人の国家的な救いとも結びついていることを覚えていることが大切です。

エベネゼルは、漁夫と猟師の時の重要性を認識しています。エベネゼルのウクライナチームは、現在猛スピードでユダヤ人がイスラエル帰還のための書類を整えるのを支援をしているところです。ヨーロッパ全体でも、エベネゼルのチームは、ユダヤ人の家族がアリアーするための準備を支援しています。

私達の目の前に困難な状況があるのを認識する中で、もう一つ国々のエベネゼルに与えられている任務は、ユダヤ人団体やコミュニティとのつながりの強化と協力体制の確立です。ユダヤ人の人々が私達は彼らとともに立つ友であり、彼らのために祈り、彼ら

がアリアーとなる支援を知ってもらうことがとても重要なことだと、私達は思っています。

私は最近、ハンガリーのブダペストにあるユダヤ人協会の会長を訪れました。ブダペストの町だけでも10万人のユダヤ人が在住しています。そこで、私達の働きについて分かち合い、彼らへの支援を申し出ました。エベネゼルの働きはとても感謝されています。ミーティングでは、とても暖かい歓迎の雰囲気がありました。反ユダヤ主義の台頭している中、この国において、ハンガリーのユダヤ人がアリアーするためのチームの働きを進めて行きたいと思っています。

ユダヤ人達には緊急に私達の祈りと財政的な支援が必要です。聖書で明確に記されているように、神が御自身の預言を成就するために、ユダヤ人でない者達が実際的な支援のために用

いられるのです。皆さんの支援は、ユダヤ人の帰還の夢がかなうためだけではなく、神のみこころがこの地上で成就するための助けとなるのです。メシアの再臨のための道備えをする助けをすることができるとは、何という特権、何という栄誉なことでしょう。

迫り来る嵐の中で、イスラエルの回復と贖いの神の御計画は、進み続けているのです。



ウルス・カセルマン  
開発部長  
Development Director

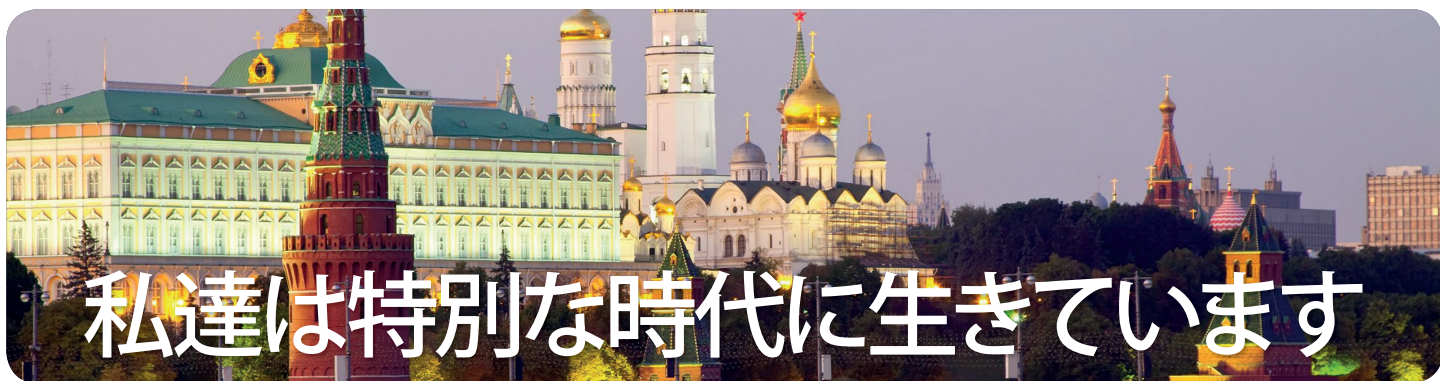
イスラエルに帰還して  
喜ぶフランスからの  
ユダヤ人の家族



## キーワード

- ▶ アリアー Aliyah : アリアーとはユダヤ人がイスラエルへ移住することを表す言葉です。ヘブライ語では、アリアーは、「上る」という定義の言葉で、エルサレムへ上っていくことを表します。
- ▶ オリム Olim : オリムは、イスラエルへ移住するユダヤ人、つまりアリアをする人々です。男性の単数形は、olehで、女性の単数形は olahです。オリムとなる候補者にエベネゼルのチームはコンタクトを取り、彼らがアリアーすることを促します。





# 私達は特別な時代に生きています

現代の私達信者の世代は、本当に祝福された世代です。なぜなら、過去2千年の間誰も見る事ができなかった神の奇跡を、ほぼ毎日のように私達は見る事ができるからです。その奇跡とは、ユダヤ人がイスラエルへ帰還する奇跡です。



ボリス・ワシュコフ  
Boris Vasyukov  
ロシア代表



エリヤ・ワシュコフ  
Elya Vasyukova  
モスクワベース代表

1991年に、湾岸戦争の勃発した時に、グスタフ・シェラーは、旧ソ連からユダヤ人達をイスラエル帰還させるための支援をするように主からの召しを受けました。そのような働きを始めるのに、その時は最も不適切な時のように思われました。なぜなら、イスラエルはイラクのミサイル攻撃を受けていて、人々はガスマスクをつけていなければならないような状況だったからです。それでも、グスタフは、主に従い、その従順によってエベネゼル国際緊急基金の創始者となったのです。

過去何週間かの間、イスラエルに再び戦いがやってきました。このことはアリヤーを阻止することができるのでしょうか。

私達は、全能者なる忠実な神様に仕えています。ですから、ユダヤ人達は

どんな状況であっても帰還し続けるのです。誰も、またどんなことも神様のご計画の成就を妨げることはできないのです。

一週間に何回も、エベネゼルのモスクワチームはたくさんのオリームがアリヤーするのを支援しています。ロシアの様々な町に住むユダヤ人の家族がモスクワに到着します。エベネゼルの運転手が彼らを鉄道駅で迎え、イスラエルへの飛行機に乗るために空港へと連れて行きます。彼らがイスラエルビザを取得するためにモスクワに来るための交通費や、パスポート取得費用は、エベネゼルが支払います。

ここ何年かの間に、モスクワからのアリヤーが増えていることは、重要なことです。最近では、若い子供連れの家族ばかりではなく、独身の若いユダヤ人の帰還も増えています。エベネゼルの運転手は、テルアビブへ発つ早朝の飛行機に間に合うために、一晩中車を走らせてユダヤ人家族と荷



皆さんの寛大な献金により、私達が購入することができた大きなミニバス

物を、町のいろいろな場所から空港へと連れて行くこともあります。

この働きのために、私達には十分な座席数があるミニバスを必要としていました。支援者の皆さん、寛大な献金を感謝します。皆さんの支援のおかげで、私達は大きなミニバスを購入することができました。このミニバスで、8人のオリームを乗せ、たくさんの荷物も載せて空港まで行くことができるようになりました。本当にありがとうございました！



オリームがイスラエルに着いてからのためにどうかお祈りください。



# 遂に故郷へ！

私達にとって非常に特別な存在であった二人の人が、イスラエルへ帰還しました。86歳のアルカディーは、ホロコーストの生存者です。私達はモルドバでエベネゼルの働きを始めた当初から、彼と彼の妻のリマのことを知っていました。

私達は彼らと親しくなり、彼らを何度も訪れるたびに、アリヤーすることを励ました。彼らには子供がいませんでした。そして彼らの唯一の親戚の方はイスラエルに住んでいました。ですから、私達からの実際的な支援を彼らはとても歓迎してくれました。

2014年の初めに、彼らは約束の地へ行くことを決心しました。彼らはこの大きな一歩を踏むことについて、不安な時も過ごしましたが、私達は彼らを励まし、彼らのアリヤーの申請

のために必要な場所へ行ったり、彼らの荷造りを手伝ったりもしました。

そして遂に、彼らをイスラエル帰還のために空港へ連れて行く日となりました。その数日後、彼らから電話がアリヤールカディーは明るく、「やっと自分の故郷に帰ったと感じている。」と語っていました。

どうか、ホロコーストの生存者のための私達の働きのために  
お祈りください。



パベル  
Pavel  
モルドバ・ベースリーダー



アルカディーとリマ：イスラエルへ帰還して喜んでいる様子

## 振り返ってはならない！

『振り返ったり、後悔せずに前に進みなさい。』というのは、私達が支援したある家族がアリヤーする時の姿勢でした。2012年に、ミカエル、リュドミラ、そして彼らの息子のスタニスラフはイスラエルへ帰還しました。そして彼らがイスラエルに住み始めてから、次に彼の両親のビタリーとユリアに帰還するように招いたのです。

彼らは喜んで帰還することに同意しました。そして今年の初めから準備を始めました。高齢だったのですが、ミカエルの両親は熱心にヘブライ語を学び、息子の家族がイスラエルで繁栄するための助けになれることは喜んでほしいという様子でした。

私達のチームは、このユダヤ人の家族が、アリヤーする機会を受け入れ、イスラエルでの新しい生活に目標を持ち続けている姿に励まされま

した。彼らは、駅や空港への送り迎えや、宿泊場所の提供などのエベネゼルの支援にとても感謝しているようでした。

主が彼らのイスラエル帰還と新しい生活を祝福して下さいますように。



Zhansolu  
ザンソル  
カザフスタンリーダー



写真は再会する家族：ミカエル、リュドミラ、とスタニスラフは、ミカエルの両親のビタリーとユリアにイスラエルで再会することができました。

A Christian ministry helping the Jewish people return to Israel





# 全ては祈りから

## 神の御計画はとどめられることはない！

神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。(ローマ8章28節)

この季刊誌でも記事で読むことができますが、反ユダヤ主義がいくつかの場所だけではなく世界的に強まっていることは明らかなです。ウルス・カセルマン氏は、現在のヨーロッパにおける状況を、第二次世界大戦前の状況にたとえています。ロシアのボリスは、モスクワからのアリヤーが、過去何年かで増加していること、またラテンアメリカのチームは、その地域における反ユダヤ主義が強まっていることを証言しています。

このように国々が揺り動かされるのを見る時、主が確かに働いておられ、御自身の民を帰還のために呼んでおられるのを見て喜ぶことができます。ローマ書にあるように、主は全てのことを働かせて益として下さるのです。そしてアリヤーの増加は、主の忠実さの証なのです。

エベネゼルは、祈りと实际的な支援によってユダヤ人の必要に答えています。どうか、ぜひ次のことをお祈り下さい。



ウクライナからの家族を助けるヤナ(左)

エリザベス・ウェブ Elizabeth Webb

国際エンゲージ 祈りのコーディネーター



- ・ ・ アルゼンチンにおける支部の働きが確立のために
- ・ 今年の7月にアルゼンチン支部が公式に登録されたことを感謝します。また、ユダヤ人コミュニティと良好な関係を築いていることも感謝します。
- ・ どうか、エベネゼルが地域の政府から好意を受けることができるように、また、計画が進んでいく中で主が導いて下さるように引き続きお祈り下さい。
- ・ ・ 反ユダヤ主義が強まる地域においてアリヤーが急激に増加しています。エベネゼルは、ユダヤ人達の帰還の準備のために、ユダヤ人協会と協力して働いています。
- ・ どうか、イスラエルへの帰還を妨げる全ての障害が取り除かれて、ユダヤ人達が無事故郷の地へ帰還できますようにお祈りください。
- ・ ・ 中央アメリカの新しいチームのために
- ・ 中央アメリカ各地からのアリヤーを支援しやすくするために、国境を越えてエベネゼルのネットワークが強められるようにお祈り下さい。
- ・ ・ 現在世界で起こっている状況が、ユダヤ人にとって、主が彼らを先祖に安全に住まうことができる
- と約束された地へと、帰還させようとしているしるしであると受け取ることができるように。
- ・ ・ ウクライナとロシアにいるエベネゼルの漁夫のチームと現地のクリスチャン達。
- ・ どうか、一致のためにお祈りください。また、彼らがこの困難な状況の中で働きを実行する中で、神の知恵と守りを受けることができますようにお祈りください。
- ・ ・ 東南アジアとオセアニア地区のために
- ・ 私達は、現地のクリスチャン達の心が開かれていることに、大きな励ましを受けています。どうか、彼らがアリヤーのためのとりなしを掲げることができるように、この兄弟姉妹たちのためにお祈りください。
- ・ ・ 最近イスラエルへ帰還したオリーブのために
- ・ 帰還したオリーブがイスラエルでの生活に適應できるように、主が彼らの全ての必要を満たして下さるようにお祈り下さい。エルサレムのエベネゼルチームが、必要のあるユダヤ人達を支援する中で、日々主からの守りと導きを受けることができるようにお祈り下さい。





# 立ち上がるために召されている世代

今年のエンゲージには、早くからある思いが与えられていました。それは、1991年のエベネゼルの誕生とエンゲージイスラエルツアーには、類似点があるということです。

状況の重大さの違いはありますが、エベネゼルが誕生したのも、エンゲージ2014ツアーの開催式が行われたのも、エルサレムの防空壕においてでした。主は私達を、イスラエル国防軍がガザに入ったのと同じ時に、イスラエルへ呼びました。そして、そのツアーは、国防軍の大部分がガザから撤退した時に、終了したのです。それはまるで主が私達をこの時にイスラエルへと霊的軍隊となるように召し下さったようです。イスラエルとともに立つということに、全く新しい領域をもたらしました。必要ならば、私達は最終的な代価をも払う準備ができているのか、ということです。

イスラエルに私達がいたことが、出会った人々にとってどのような意味があったのかは、驚くべきものでした。他のほとんどのツアーはキャンセルされている中で、イスラエルの

本当に多くの人々が、18カ国から来ている75人の若者達がイスラエルを祝福し、イスラエルに仕えるために来ていることに驚嘆していました。そして何度も何度も、「このような時に勇敢にもイスラエルに来てくれたことを」感謝されたのです。また地元のメディアも、私達の存在を喜んでいました。そこにいっただけで証となることができました。そして、彼らは、私達がイスラエルの人々を助けたいと願っているアリヤーの働きを代表しているということを知ったのです。

アリヤーは、この旅を通して中心的なテーマでした。そしてこのような時代において、ユダヤ人の帰還を支援することが緊急な課題であることが多くの教えとともに再度強調されていました。私達は、主が祈りに答えて下さっていることを本当に感謝しています。

私達は非常に励ましを受けました。なぜなら、参加者がアリヤーの意味と戦略的な重要性をあらたなる情熱を持って受け取ることができたからです。主が、未だかつてないほどにとりなし

Niki Stucken

エンゲージ・インターナショナル  
リーダーシップチーム  
東南アジア地区



困窮するイスラエルの家族のために野菜を収穫している

祈る者達を建て上げて下さっていると感じます。

ここから私達がささげ続ける祈りは、イスラエルへの敵対心が強まっている中で、主からの力を受けて堅く立ち続けることができるように、という祈りです。反ユダヤ主義が強まっていることは誰の目にも明らかです。私達は、今日、神の目的のために立つ世代でありたいと願っています！

エンゲージ・イスラエル



1. エンゲージ・イスラエル  
**engage:Israel**  
2015年7月20日から8月3日まで  
18歳から35歳対象

この旅は、私の人生を変える体験でした・・・ ジェームズ (ウェールズ)

ぜひご参加を！  
活動満載のイスラエルでの**14**日間





# 驚くべき帰郷!

彼ら一人一人の顔を見ると、彼らがそれぞれに語るべきストーリーがあるのがわかります。ベン・グリオン空港で、帰還したブネイ・メナシェ族の人々に会うことは、素晴らしく、忘れがたい体験でした。



Shirley Lawernson  
シャーリー・ローレンソン  
オリム・リエゾン イスラエル

インドのエベネゼルチームのアベとディーパは、マイケル・フロイトと、彼の率いるシャベイ・イスラエルという団体とともに、愛と励ましを持って、ブネイ・メナシェ族を集め、空港へ連れて行き、彼らのイスラエルへの帰還を支援しています。エベネゼルは、このユダヤ人達がイスラエルへ帰還するのを支援するという驚くべき支援に参加する特権を与えられています。

最近、私は、これらのユダヤ人が長年願ってきた帰還を果たしイスラエルに到着するのを、シャベイ・イスラエルの人々とともに迎えることができました。私達は彼らが最初の書類手続きをするプロセスに同伴しました。それから彼らにとって最も感動的な時が訪れました。空港の到着ロビーに入った時に、何時間、何ヶ月も、また何年もの間彼らを待っていた家族のメンバーが彼らを歓迎したのです。彼らは、愛する家族のもとに走って行き抱きしめ合っていました。

この喜びを何と表現したらよいでしょうか? 言葉では表すことができないものでした。彼らの微笑みに満ちた表情が全てを物語っていました。長い飛行機の旅の後で疲れていましたし、たくさんの説明や情報を受け取りましたが、彼らは到着ロビーに入って行った時に、その全ての労苦を忘れ去りました。彼らはイスラエルという故郷へ帰ったのです! そして彼らは、愛する家族の腕の中にいるのです。その喜びと興奮は圧倒的なものでした! 喜びの涙が流れ、強く抱きしめ合い、微笑みながら一緒に、約束の地での最初の家へ向かうためにバスに乗り込みました。

このような喜び、興奮、そして聖書の預言の成就に立ち会えるとは何という祝福でしょう。何年もの間、多くのオリムがイスラエルへ帰郷するのを見してきましたが、この喜びは決して失われることはありません。このような場面を見る時に、私はいつも圧倒されるの

です。そこに立つて、この42人の新しいイスラエル国民がイスラエルに帰還するのを見た時、私はこう祈りました。「主よ、どうか扉を開き続けて下さい。さらに多くの人々がイスラエルへ帰還できますように、大路を開き続けて下さるようにお祈りします。」主をほめたたえます!



ベン・グリオン空港にて、涙の再会

イスラエル

## イスラエルツアー 2015

2015年4月29日から5月10日まで

含まれるもの: Gホテル、エアコン付バス、二食付、税金、チップ、ツアーガイド

含まれないもの: 航空券、昼食、旅行保険、健康保険。さらに長期の滞在を望まれる方は、Keshet(ツアーパートナー)にお問い合わせください。

[www.keshetisrael.co.il](http://www.keshetisrael.co.il) / [info@keshetisrael.co.il](mailto:info@keshetisrael.co.il)

ツアーコーディネーター: Johannes Barthel — [info@ebenezer-international.de](mailto:info@ebenezer-international.de)



西壁での祈り



ブネイメナシェ家族の訪問

ツアー費用  
1,795 US\$

Visit [www.operation-exodus.org](http://www.operation-exodus.org) for further details including full tour itinerary and to make a booking. Book early as places are limited.